



行動規範

共通原則



ビジネスを前進させる倫理的リーダーシップの支援



ビジネスを前進させる倫理的リーダーシップの支援

明確な原則と実践的なガイドラインにより、Co-workerや地域社会の成功をサポートします

CEOからのメッセージ

TD SYNnexは、私たちの生活や仕事のあり方を豊かにするイノベーションとソリューションを提供しています。メーカー、サプライヤー、ソリューション・プロバイダーと他の市場を結ぶ戦略的コネクターとして、テクノロジー・エコシステム貢献しています。強力なリレーションシップと深い専門知識により、ITをパーソナルなものにします。

パートナーの信頼と誠実さという企業文化が競争優位性を生み出しており、その優位性を維持するためには、TD SYNnexの社員一人一人の倫理的リーダーシップが不可欠です。この行動規範は、正しい方法でビジネスを行うとはどういうことかを明確に示しています。それは、私たちが自分たちのコミュニティであることを誇りに思えるような、TD SYNnexのコミュニティを築くための助けとなります。

この行動規範に示された共通の原則は、私たち全員に適用されます。世界中の同僚や請負業者を含め、私たち全員が対象です。また、当社のビジネスパートナーにも当社との取引においてこれらの原則を遵守し、万が一、当社が遵守できていない場合は当社に報告することを期待しています。私たちのコミュニティの皆様、これらの原則に反するような行為を見たり、疑ったりした場合は、声を上げていただきたいのです。そうすれば、私たちは協力して問題を正すことができます。

これからの変革の時代に、皆様と共に築き上げる大きな進歩を楽しみにしています。TDシネックスの誠実さという基盤は、こうした変化に適応し、成長する自信を与えてくれます。同時に、TD SYNnexが次にどこへ進もうとも、私たちは常に当社の価値観に根ざし、皆さまの信頼に値する存在であり続けることを確信しています。

世界中の同僚を代表して、あなたの倫理的リーダーシップ感謝します。

Patrick Zammit
CEO, TD SYNnex



本規範は、全世界の請負業者やコワーカーなど、TD SYNnexのすべての従業員に適用されます。本規範を読み、理解してください。そして、何か問題があると感じたときは声をあげてください。

TD SYNnexの コアバリュー

TD SYNnexの文化は、私たちの価値観によって形作られています。

インクルージョン

あなたの声を大切にします。

当社は、多様な経歴、専門知識、経験を持つ人材から成り立っています。互いを理解し、個人の能力を認めようとすることで、他者に対する尊敬と尊厳の念を表すことができます。私たちは、お客様に優れた成果をもたらし、共に成功をおさめるために、学び、進化し、さらに潜在的な可能性を引き出し出すことができます。

このような広い視野に立った考え方は、ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性)、インクルージョン(包括性)に対する当社の取り組みにとって不可欠なものです。

コラボレーション

長所を伸ばします。

私たちは、サプライチェーンのあらゆる側面において、皆さんやパートナーの能力を最大限に引き出すことにより、絶えず進化する顧客と市場の要求に応えます。

蓄積された専門知識を活用し、互いの話に耳を傾け、サポートし、刺激し合うことにより、私たちは単に目標を達成するだけでなく、大きな成果を成し遂げます。

インテグリティ

個性を大切にします。

誠実さ、透明性、敬意、公正さを持って行動することで信頼が築き上げられます。信頼は起業家精神を育み、顧客に卓越した成果をもたらすイノベーションを促します。

私たちは、互いに最高レベルの責任を課すことにより、創造的なアイデアが育まれ、顧客、ベンダー、そして互いに価値をもたらすようなオープンで誠実な職場環境を構築します。

エクセレンス

成功にこだわります。

私たちは、確固たる労働倫理と卓越性へのコミットメントを通じて、顧客とベンダーに価値を提供します。積極的に機会を追求し、課題に取り組めます。変化に素早く対応し、自信を持って行動し、パートナーおよびビジネスの成果の最大化を目指します。



「TD SYNnexは多様性を強みとしています。各チームや地域、そして社員一人ひとりが、独自の視点や専門知識を業務に活かしています。これにより、パートナーの成功に対する共通のコミットメントと価値観に基づく企業文化によって結ばれた、グローバル・イノベーション・コミュニティが形成されます。」

Alim Dhanji

Executive Vice President,
Chief Human Resources Officer

共通原則

本規範の内容はTD SYNnexの倫理的な事業活動を定義する10の共通原則によって構成されています。

- p8 私たちは誠意を持って主導します
- p11 私たちは声を上げます
- p14 私たちは配慮します
- p17 私たちは、安心して互いに尊重し合えるインクルーシブな職場を提供します
- p21 私たちはポリシーと法令を遵守します
- p24 私たちは取引関係で信頼を築きます
- p29 私たちは株主とリソースを尊重します
- p32 私たちは自由で公正な競争を目指します
- p36 私たちは個人のプライバシーを尊重します
- p38 私たちはサイバーセキュリティを最優先します

特定のポリシーや参考情報を探すときは、巻末のトピック索引を利用してください。

本規範の使用方法。

コワーカーが日常業務で遭遇するすべての状況に対するガイダンスを一つの文書で網羅することは不可能です。この文書では、その他参考ポリシーや有用なリソースにアクセスしたり、更なるサポートが必要な場合に相談できるコワーカーを特定するのに役立つリンクを記載しています。

サポート連絡先



この欄には、更なる助言やサポートが必要な場合に相談することができるTD SYNnexで働くコワーカーのメールアドレスや連絡先が記載されています。

詳細の確認



これらのリンクから、職務で生じる一般的な疑問に関する簡単で利用しやすいガイダンスが得られるツールキットや対話モジュールにアクセスできます。

ポリシーの確認



これらのリンクから、各トピックに関連するポリシーへアクセスできます。当社のポリシーには、幅広い分野に応じた詳しいガイドラインが記載されています。



「本規範は単に規則を並べているだけではありません。TD SYNnexのビジネスを正しく進めるためのユーザーガイドなのです。」

Jean-Paul Durand

倫理・コンプライアンスオフィサー

TD SYNnexは、 透明性を 重視しています。

そのため、共通の本規範を公開し、誰でも閲覧できる状態にしています。これには、現コワーカーだけでなく、株主、ビジネスパートナー、求人応募者も含まれます。

本規範に掲載されているリンクの多くは、有効なTD SYNnexアカウントを保有しているコワーカーのみ利用できますが、ご質問があればどなたでもお問い合わせいただけます。

TD SYNnexの社内ポリシーやリソースについて詳細を知りたい場合は、
ethicsandcompliance@tdsynnex.com
までメールでお問い合わせください

TD SYNnexは、コアバリューの一つとしてインテグリティを掲げています。

いつでも正しい判断を行えるよう、TD SYNnexではポリシー、トレーニング、リソースへ投資をしています。しかし、これらのリソースもあなたなしでは何の意味也没有ありません。

インテグリティへの揺るぎない取り組みを維持できるかどうかは、全世界のコワーカーによる正しい決断と分別のある意思決定にかかっています。TD SYNnexでは、これを倫理的リーダーシップと呼んでいます。

私たちは
インテグリ
ティをもって
主導します。

倫理的リーダーシップモデル

TD SYNnexのコワーカー、一人ひとりが倫理的リーダーとなることが期待されています。

倫理的リーダーシップモデルの3ステップに従って、日常業務のあらゆる場面で、正しいことを、正しい方法で行うようにしてください。



一時停止

- 倫理的リーダーになるための第1ステップは、選択する場面に遭遇したときに立ち止まり、考えることです。
- 「顧客に頼まれたから」、「ベンダーに言われたから」、「多忙で正しいことができなかったから」といった弁明は許されません。
- 私たちは自ら選択を行い、正しく行動する責任を負います。



考える

- TD SYNnex、ビジネスパートナー、コミュニティにとって何が最善でしょうか？
- 今、行おうとしていることは、TD SYNnexのコワーカー全員が日常的に実行しても問題ないことでしょうか？
- 関連する法令やポリシーで義務付けられていることは何ですか？
- その判断が新聞の1面で報道されたとしたら、あなたはどのように感じますか？



実行

- 正しい行動を判断したら、私たち自身だけでなくコワーカーも、責任をもって行動に移します。つまり、TD SYNnexが合法的かつ倫理的にビジネスを行うために導入した手順やプロセスに従って、行動しなければなりません。
- また、正しい行動が不明な場合は、質問することも大切です。

私たちの責任

TD SYNnexでは、誰もが私たちの原則に対して責任を負います。このコミットメントは、マネージャーが起点となり、当社組織のすべてのメンバーに周知されます。

マネージャーである私は、

- TD SYNnexの行動規範に従って、ポリシーと法令を確実に遵守します。
- 懸念の報告を受けた場合は、敬意と配慮をもって報告者の話に耳を傾けます。TD SYNnexの価値観、法令またはポリシー（本規範を含む）の違反が疑われる旨の報告を受けた場合は、人事部門、倫理・コンプライアンス部門または法務部門にエスカレーションを行ってサポートを求めます。
- 不正行為を隠蔽したり、無視したりしません。
- 何者への報復も決して行わず、許すことはありません。

TD SYNnexで成功を収めるにはインテグリティが不可欠です。そのため、マネージャーはチームの倫理とコンプライアンスを優先しなければなりません。チームミーティングでは、コンプライアンスに関するトレーニングやコミュニケーションについて率直に話し合うことが奨励されます。正しいことを正しい方法で行ったコワーカを称賛します。そして、採用や業績管理上の意思決定にあたっては、インテグリティとコンプライアンスを判断の主軸としています。私たちは、事業領域を監視して、TD SYNnexにリスクをもたらす可能性がある慣行を特定する責任を負います。私たちは、あらゆるリスクを軽減するために積極的に取り組みます。

私たち一人ひとりが自分自身に責任を持たなければなりません。

私たちのポリシー、価値観、共通原則を逸脱した場合、自分自身がリスクにさらされることになります。私たちのすべての意思決定が信頼できるということを、ビジネスパートナーに周知する必要があります。本規範にたった一つでも違反することがあれば、この信頼が損なわれる可能性があります。さらに、罰金を科せられたり、民事責任や刑事責任に問われる可能性もあります。

報告を受けた場合、TD SYNnexは措置を講じます。対象となるすべての誠実な報告を、資格のある者が調査します。調査にあたっては、報告者のほか、適切なレベルのリーダー層と連絡を取り合います。非倫理的または違法な行動が明らかになれば、是正措置を講じます。これには、解雇が含まれる可能性があります。適切と思われる場合は、政府当局に報告してさらなる調査を求めることもあります。

権利放棄

本規範の権利放棄や免責については、該当地域の最高責任者に、理由を添えて申請しなければなりません。この申請は、倫理・コンプライアンス部門によっても審査されます。



サポート連絡先

TD SYNnexの倫理アドバイザーは、マネージャーやコワーカが利用できる有用なリソースです。全世界の拠点に配置されており、倫理とコンプライアンスに関する有用なリソースを見つける手助けをしたり、一般的な質問に答えてくれます。また、本規範の違反が疑われる場合には、懸念の報告に耳を傾け、エスカレーションを行う役割も担います。

TD SYNnexでは、不正行為や不法行為に気付いた場合に声を上げます。

早い段階で声を上げることで、事態の悪化を食い止めることができます。会社、コワーカー、パートナー、そして自分自身へのリスクを減らすために当社がオープンなコミュニケーションをとっているのはそのためです。

疑念があれば、サポートを求めてください。調査への参加を頼まれた場合には、私たちは常にオープンかつ誠実に対応します。



私たちは
声を上げ
ます

声を上げて下さい。 あなたの意見を聞きます。

本規範の違反に関する懸念 があるときは、可能な限り速 やかに報告してください。

自身の上司、経営陣、倫理アドバイザー、人事部門、法務部門、または倫理・コンプライアンス部門に相談することができます。また、取締役会の監査委員会またはEthicsラインを通じて懸念を報告することも可能です。

Ethicsライン

Ethicsラインは24時間365日、いつでもあなたの懸念の報告を受け付けています。オンラインで報告するほか、各地域の通報番号を調べて電話で報告することもできます。本人が希望する場合は、匿名での報告が可能です。ただし、当社では報告者の特定はできないため、対応にあたり追加の情報を求める場合があります。匿名で報告を行うときは、**報告キー**と**パスワード**をメモしておき、報告後も頻繁にEthicsラインを確認して当社と連絡を取り合うようにしてください。

報復禁止に関する声明

TD SYNnexでは、いかなる報復も許容しません。懸念があるときは報告してください。偽りなく誠実に報告した報告者は、いかなる報復からも保護されます。報告を行うときは事態の全容を把握していなくてもかまいません。あなたの唯一の義務は、誠実であることと、必要に応じて調査に協力することだけです。懸念が立証されなくてもかまいません。私たちは、あなたが誠実に助けを求めてくれたことに感謝し、報復から保護します。



サポート連絡先

疑問点がある場合は、[倫理・コンプライアンス](#)チームにメールで問い合わせてください。



詳細の確認

詳細の確認や懸念の報告を行うには、[Ethicsライン](#)にアクセスしてください。



ポリシーの確認

詳細の確認や懸念の報告を行うには、[スピークアップおよび報復禁止に関するポリシー](#)を確認してください。





「これは私たちの会社です。間違いを犯したり、基準に満たないことがあれば、物事を正すのは私たち全員の責任です。」

Marshall Witt
最高財務責任者

二酸化炭素排出量と廃棄物を削減し、多様でインクルーシブな労働環境を取り入れることにより、より持続可能な未来の実現に努めます。

TD SYNnexは、ステークホルダーの優先事項を評価した上で、グローバル向けのコーポレートシチズンシッププログラムを立ち上げました。このプログラムは次のことに焦点を当てています。

- 環境への影響
- 社会福祉
- ガバナンス - 本規範はガバナンスへの取り組みの一例となります。TD SYNnexは、倫理・コンプライアンスに関するグローバルプログラムなど、確立されたガバナンスポリシーと原則を定めています。

上記の3つの原則は、ESGと呼ばれることがあります。



私たちは
配慮します。

環境を守る。

TD SYNnexは、相互に関わり合う活力ある世界を目指すというビジョンに基づき、地球環境を守ることに注力しています。

TD SYNnexの環境への取り組み

私たちは、科学的根拠に基づく目標設定「ビジネス・アンビション・プレッジ」に取り組むとともに、2045年までに世界中の事業活動における温室効果ガス排出量実質ゼロの達成を目指しています。私たちは、組織全体でサステナビリティの考え方を取り入れ、グローバルで二酸化炭素排出量を削減し、排出量削減の目標を定め、サステナビリティ実現に向けた取り組みを強化し、顧客とベンダーによる同様の取り組みを支援することに努めています。

循環経済の原則を採用し、ステークホルダーと協力してIT製品の修理、改修、リサイクルを行い、廃棄物の削減に努めています。

CDPを通じて環境サステナビリティのパフォーマンスを報告するとともに、ISO 14001などの国際基準を満たす環境マネジメントシステムを構築しています。

これらの取り組みは互いに連携しており、TD SYNnex全体として環境への影響を最小限に抑えることに貢献しています。

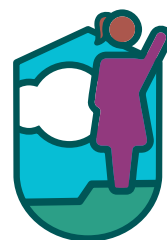


詳細の確認

TD SYNnexのコーポレートシチズンシッププログラムの詳細については、当社のウェブサイトを確認してください。

テクノロジーによって誰もが素晴らしいことを実現できます。

TD SYNnexのダイバーシティ、エクイティおよびインクルージョンチームは、世界中のコワーカーのために有用なリソースを構築しています。この例として、親和性に重点を置いたネットワークであるビジネスリソースグループ (BRG) では、コワーカーが有意義でインクルーシブな会話をしたり、文化の違いをたたえたり、個人目標や職業上の目標を達成するスキルを育んだりすることができます。

**ELEVATE**

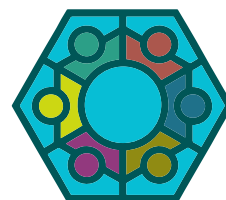
女性労働者グループ

**BEACON**

黒人労働者グループ

**FUERZA**

ヒスパニック労働者グループ

**EMBRACE**

労働者グループ

**RISE**

API (アジア・パシフィック・イニシアティブ) 労働者グループ

**SPECTRUM**

LGBTQ+ 労働者グループ

**PATRIOTS**

退役軍人労働者グループ

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

私たちは、テクノロジーによって誰もが素晴らしいことを実現できると信じています。この「誰もが」という言葉が重要です。TD SYNnexによる社会的責任への取り組みは、本規範の後半で記述するとおり、コワーカーが起点となります。私たちは、働きがいのある職場として評価を受けており、さらにはダイバーシティ、エクイティおよびインクルージョンを促進し、実践するリーダーとして認められていることを誇りに思っています。この取り組みをビジネスパートナーにも広げ、地域社会で多様なパートナーシップを構築することに努めています。

社会貢献活動

地域社会に影響を与えること、これはTD SYNnexが長い歴史の中で誇りにしていることです。私たちは、子どもと教育、健康と福祉、情報格差の解消への取り組みを続けています。サービスが行き届いていない地域社会に向けて、機器、デジタルスキルのトレーニング、インターネット接続、技術サポートを提供しています。当社のコワーカーは地域社会でのボランティア活動が奨励されており、また、各拠点では世界中の慈善団体や非営利団体を支援しています。

人権に関する声明

TD SYNnexは、最低賃金、時間外労働、最長労働時間に関する規定など、事業を展開する全ての国の雇用労働法の遵守に取り組んでいます。

私たちは、雇用は自由な選択であるべきだと考え、人身売買、強制労働、奴隷労働、非自主的労働を禁じています。私たちは、児童搾取や児童労働を許容しません。

また、個人の結社の自由も尊重します。当社のコワーカーは、誰とでも自由に団体を結成できます。希望する場合は、団体交渉や経営陣と意見や懸念を共有するために労働組合を結成することができます。私たちは、労働組合に加入する権利を行使する人への差別、嫌がらせ、報復を許容しません。

詳細の確認



TD SYNnexの人権への取り組みについては、当社のウェブサイトを確認してください。

当社は、コワーカーが活躍できる、選ばれる雇用主であることを目指しています。

国や地域ごとに、ポリシーとツールを導入して職場でのコワーカーの安全を確保しています。懸念がある場合には、コワーカーに声を上げることを推奨しています。いかなる形であれ、ハラスメント、いじめ、差別を許容しません。

職場におけるダイバーシティを尊重し、インクルージョンを優先します。全ての人が受け入れられ、互いに尊重し合えるインクルーシブな環境作りを進めます。コワーカーやビジネスパートナーが安心でき、尊重され、力を発揮できるように、積極的な取り組みを行います。

これはビジネスに不可欠なことです。当社が成功を収め続けるには、多様なスキルや視点が必要です。



当社は
安全で、尊重される
インクルーシブな
職場環境を提供します。

機会とインクルージョン

機会均等の実現

TD SYNnexは、事業展開しているあらゆる地域において、雇用における差別を禁止する法令を遵守します。すべての人に均等な雇用機会を提供します。不当な偏見に基づいて求人応募者やコワーカーを扱うことは決してありません。

ハラスメントと差別の撲滅

TD SYNnexでは、個人の特性を理由に差別やハラスメントを行うことが禁止されています。コワーカーが嫌がらせやいじめを受けたり、不快に感じるような、いかなる言動、電子メール、動画、画像、冗談、中傷を許しません。この期待は、ビジネスパートナーのほか、私たちが業務の過程で参加する外部イベントにも適用されます。

ゼロ・トレランス。

TD SYNnexでは、コワーカーと認められた者が障がいを持つ場合、合理的な配慮を図ります。法的保護の対象となっている特性を理由とする、いかなるハラスメントや差別も許容されません。この特性には次のようなものがあります。

人種	年齢
ジェンダー（性別）	軍役経験の有無
妊娠	宗教・信条
婚姻状況	性的指向
精神障がい	民族
肌の色	身体障がい
性自認	法的保護の対象となっているその他の特性。
国籍	

ポリシーの確認

ポリシーセントラルで[差別・ハラスメント防止に関するポリシー](#)を参照のうえ、TD SYNnexにおけるあらゆるハラスメントや差別からの保護など、当社組織での許容行為に関する期待全般について確認してください。

不平等に 立ち向かう。

ダイバーシティとインクルージョンは、TD SYNnexの文化に不可欠なものです。私たちは、すべての人が受け入れられる信頼できる環境を育むとともに、この取り組みを当社の地域社会へと広げていきます。

私たちは、事業展開しているすべての場所で、コワーカーやビジネスパートナーが安心でき、尊重され、力を発揮できるよう、積極的な対策を講じなければなりません。重要なのは相手を思いやる言葉や力づける言葉だけではありません。より重要なのは行動です。

現実のシナリオ：



一時停止

チームミーティングでマネージャーが発した冗談により、何人かのコワーカーが気分を害しました。その後、あなたは休憩室で、マネージャーの発言にとても腹を立てているという話をそのコワーカーから聞きました。しかし、マネージャー本人は何も知らないようです。

どうしますか？



考える

- 悪い冗談と不快な冗談の違いは何か？ どの程度でハラスメントや差別になるのでしょうか？
- TD SYNnexの繁栄は、多様でインクルーシブなコミュニティによって実現しています。共同体意識を損なう言動は許されません。私たちは問題を報告し、必要に応じて措置を講じることを約束します。
- この例では、不快な思いをしたコワーカーがいるという事実は、議論を始める十分な理由となります。この状況についてマネージャーと直接話し合うのがためらわれるときは、信頼できる人事部門のコワーカーか倫理アドバイザーに相談してください。



実行

図らずもコワーカーの気分を害してしまったときは、事態を悪化させないようにしてください。自己防衛的になるのは逆効果です！どのような意図があったのかは重要ですが、私たちの言動が他人に影響を与えたというも重要です。フィードバックを進んで受け入れ、成長の機会と捉えましょう。自分の意見を伝えるのは勇気のいる行為です。勇気を示して相手の意見を聞き、同じ過ちを繰り返さないようにしましょう。

安全と品質への取り組み

私たちは、安全で質の高い商品とサービスを提供することにより、TD SYNnexの社会的評価を維持します。

私たちは、各拠点に設けられている品質プロセスや安全要件を常に遵守します。私たちは、商品やサービスの開発に関して適用されるすべての基準および規制のほか、職場の安全を確保するためのすべての法規制を遵守します。

薬物乱用の禁止

薬物乱用は職務を安全に遂行する能力を制限し、私たち全員を危険にさらすものです。アルコール、違法薬物または医薬品の誤用は安全に行動する能力を損なうものであり、これらの影響下にある状態で働くことは一切許されません。合法的に処方された医薬品が自分の判断力や反応時間に影響を与える可能性があるときは、上司または人事部門の担当者に相談してください。ビジネスイベントでアルコールが振る舞われたときは、常にプロ意識をもって行動します。

薬物乱用やアルコールに関する問題は治療可能です。TD SYNnexは秘密を厳守して支援します。詳細については、人事部門に問い合わせてください。

暴力の防止

コワーカー、訪問者、TD SYNnexの取引相手に対する暴力や脅迫は許されません。暴力の脅威は例外なく重大な問題であり、すぐに治安担当者、経営管理者または現地警察(各地域の適切な通報先)に報告しなければなりません。



詳細の確認



TD SYNnexのライフ・エンパワーメント支援プログラム (LEAP) は、有資格者による適時な支援とサポートにより、薬物乱用に関するカウンセリングを含む、人生で遭遇するあらゆる複雑な問題への対処をサポートするプログラムです。LEAPは国内通話料無料で24時間365日対応しています。

TD SYNnexは規則に従って行動します。

私たちは、事業展開するすべての地域で適用されるすべての基準や規制を含め、あらゆる法令に従います。

すべての法的要件に加えて、当社の事業者が導入するローカルポリシーとグローバルポリシーに従い、遵守を徹底します。現地の法律がこれらのポリシーよりも厳しい場合、現地の法律に従います。現地の商慣習が当社のポリシーと矛盾する場合は、当社のポリシーに従います。ある行為が不適切かどうか疑問がある場合は、助言を求めます。

これらのコミットメントは原則全ての人に適用され、例外の場合は取締役会の承認が必要です。



私たちは
ポリシーと
法令を遵守
します。

輸出入・貿易規制

TD SYNnexはグローバル企業です。国際貿易に関する規則や規制には十分な注意を払わなければなりません。

多くの国では、輸出入に関する独自の法令や法的要件が定められています。輸出入という用語は、通常、商品やサービスの国家間の移転を指しますが、企業情報保有者の海外渡航、ソフトウェアの海外でのダウンロード、ソースコードや技術仕様の公開なども輸出とみなされる可能性があります。

私たちは、グローバルに事業を展開しているテクノロジーディストリビューターとして、輸出入規制を常に遵守するよう努めています。私たちは、関連するすべての制裁措置と禁輸措置を遵守します。

現実のシナリオ：



一時停止

あなたは、高額品を海外の新規再販業者に販売しようとしています。この商品は軍事用途と商業用途の両方に用いられる品目です。取引を完了するには輸出許可の取得が必要であると、法規制遵守チームから説明を受けました。再販業者に電話して必要な情報を求めると、注文がキャンセルされました。翌日、その再販業者から、別の国を配送先とする同一の発注を受けました。



考える

- 当社の法規制遵守チームは、国際的な輸出規制や金融関連法規制の遵守を徹底する役割を担っています。輸出許可が必要であるという指示を受ければ、それに従わなければなりません。
- 軍事用途と商業用途の両方に用いられる品目は米国等の政府により「二重用途用品」に分類されており、多くの国で他の品目よりも厳格な輸出規制の対象となっています。
- この例では、新規発注のタイミングとその背景が警戒を要する状況です。法規制遵守チームは、状況を評価し適切な対応についてサポートをします。ただこの例では、再販業者が実際の仕向地を隠して必要な事務処理を回避しようとしていることは明らかです。



実行

ビジネスパートナーが国際商取引法や規制を回避しようとしている危険行為に遭遇したときは、直ちにエスカレーションを行ってください。売上を失うことは打撃かもしれませんが、顧客による貿易法や制裁措置の違反に加担すれば、TD SYNnexのビジネスにより大きな損害をもたらす可能性があります。

サポート連絡先



国際商取引法は複雑な場合がありますが、法規制遵守チームができる限り対応できるよう取り組んでいます。サポートが必要な場合は[法規制遵守チームのページ](#)から、地域別の連絡先を確認してください。

マネーロンダリング

個人や組織が違法な資金を隠そうとしたり、正当な資金に見せかけようとしたりすることがあります。こうした行為はマネーロンダリングと呼ばれます。

TD SYNnexでは、マネーロンダリング防止と反テロリズムに関するすべての法令の遵守に努めています。

マネーロンダリングに協力すると、多額の民事・刑事上の罰金を科せられる可能性があります。

意図せず共犯者となることを避けるため、次のような危険行為への警戒を怠らないようにしてください。

- 合意された金額を超える支払いの要請
- 不審なアカウントからの支払い
- 別の通貨での支払いの要請
- 現金での支払いの要請
- アカウントと無関係な第三者からの支払い

ポリシーの確認



[危険行為の判断に関するポリシー](#)を確認し、違反の疑いを見極めて対処できるよう、TD SYNnexのコワーカーに求められる手順を理解してください。

TD SYNnexでは、インテグリティが競争上の優位性をもたらしています。

私たちは、常に誠実かつ正確であることを目指しています。たとえ容易ではなくても、正しいことをします。

私たちはベンダーや顧客との間に信頼関係を築くことによって成功を収めます。ビジネスパートナーをごまかすために情報を隠蔽したり、虚偽を伝えたりすることは絶対にありません。

また、TD SYNnexを代理して発言または行動ときは、自分がその権限を与えられていることを認識したうえで行います。自分の言動がポリシー、価値観および法的要件に反していないことを常に確認します。



私たちは
取引関係で信頼
を築きます。

正確な帳簿と財務記録

私たちは、正当な事業目的のためにのみ会社の資金を使用します。必要な情報開示では、完全性、公正性、正確性が確保され、タイムリー且つ分かりやすい情報を開示するよう徹底します。

私たちは、財務書類の改ざんや虚偽の記載、取引を帳簿に記録しないこと、不正行為を隠蔽するための虚偽の取引を行うことはありません。取引が適切に記録されるよう最善を尽くし、必要に応じて社内外の監査役や政府関係者にその記録を提出します。

会計原則

収益、支出、マーケティング資金、リベートなど、取引の種類にかかわらず、各取引の詳細と目的を記録します。経理部門は、TD SYNnexのコワーカーと協力し、開示する財務情報の完全性、公正性、正確性、適時性および理解のしやすさを確保します。このほか、私たちは財務会計報告に関する会計基準、法令、規則および規制を常に遵守します。

この遵守を確実なものにできるよう、米国会計基準のほか、業務に適用される社内の会計方針やプロセスに私たち一人ひとりが従います。

署名権限

リスクを管理し、ビジネスを強化するため、TD SYNnexでは、組織に代わって会社資金の処理、契約の締結または支出の承認を行う権限を有する特定の者を指名しています。具体的な要件は活動の種類、金額、地域によって異なります。詳細な権限レベルについては、承認・責任基準 (ARM) に記載されています。



ポリシーの確認



ARMポリシーガイドを利用して、特定の状況に適用される権限要件を確認してください。不明な点がある場合は上司に尋ねてください。

ベンダーとの関係

私たちはビジネスパートナーのポリシーと期待を尊重します。

何かが問題があると思われるときは、積極的に懸念に対処します。

OEM

サプライチェーンで私たちが担う役割は、大概シンプルです。正規メーカーから製品を直接購入して、それを再販業者に直接販売します。状況によっては(Hyveを除く)、他の供給元から製品を購入したり、サブディストリビューターに製品を販売したりすることがあります。このような購入や販売は完全に把握されているものです。

ポリシーの確認



詳細情報については、[検証済サプライヤーに関するポリシー](#)を参照してください。



ベンダーマーケティング資金

私たちは、意図した用途でのみマーケティング開発資金を使用します。そして、正当かつ合法的で、十分に文書化された、ベンダーが承認した取引でのみ資金の使用を承諾します。ベンダーが資金を出す場合もありますが、当社に引き渡された後は、私たちの責任で監視と照合を行う必要があります。

私たちは請求書の支払い前に、合意したサービスが履行されていることを確認します。不明点や懸念があるときは、ベンダーや社内のマーケティングチームに問い合わせてください。

ポリシーの確認



すべての詳細については、[マーケティング開発資金\(MDF\)に関するグローバルポリシーに記載されています。](#)

詳細の確認



TD SYNnexでは、取引先のベンダーやサプライヤーに対しても、倫理上の期待を寄せています。詳細については、[サプライヤーのインテグリティに関する原則](#)を確認してください。

第三者との提携

TD SYNnexのビジネスにおいて、当社の業務委託先が行う行為は、TD SYNnexにも影響を及ぼします。

委託先となるのは、商品やサービスをTD SYNnexに直接提供する法人や個人、または当社に代わって当社の商品やサービスを顧客やベンダーに提供する法人や個人です。適切なデューデリジェンスを実施して、委託先に支払われる金額が詐欺、贈収賄、腐敗行為に用いられないようにしなければなりません。

当社に代わって委託する第三者に、TD SYNnexのポリシーや価値観で禁止されている行為を行わせてはなりません。

現実のシナリオ：



一時停止

エンドユーザー向けの導入サービスを提供しているサービス業者との契約が必要になりました。ある重要なビジネスパートナーから特定の業者を推薦されました。しかし、自分が把握している市場の相場よりも料金が高額です。また、作業完了後の作業完了証明書の提出について約束することを拒否しています。どうしますか？



考える

第三者に業務を委託する場合、委託先の行為についてTD SYNnexが責任を問われる可能性があります。非常に高額な費用は、賄賂やキックバックの兆候である可能性があります。賄賂やキックバックが行われると、TD SYNnexが厳格な処分を受けることになります。これは贈収賄の事実をTD SYNnexが把握していなかったとしても変わりません。第三者との協業前に、次のことを行わなければなりません。

- 同様のサービスを行った実績を持つ正当な企業であること、および、提示された費用や文書が適切であることを確認します。
- 関連するスクリーニングポリシーやオンボーディングポリシーなどの社内規則に従って、倫理、コンプライアンス、ITセキュリティおよびデータプライバシーに関するTD SYNnexの基準を当該第三者が満たしていることを確認します。
- 支払い前に作業完了証明書を取得して、必要なサービスが提供されたことを確認します。
- 必要な文書（詳細な請求書など）をすべて受け取っていることを確認します。



実行

費用が高額である理由とどのように作業が記録されるのかを確認できれば、このシナリオで挙げられている第三者への業務委託には問題があります。これらの条件が満たされない限り、この第三者に業務を委託することはできません。疑問点や不明点がある場合は、倫理・コンプライアンス部門に問い合わせてください。

詳細の確認



詳細については、[サードパーティ管理ツールキット](#)を確認してください。

TD SYNnexを代理しての発言

ビジネスパートナーとの協業、公的イベントへの参加、ソーシャルメディアへの投稿といった場面では、自分の言動によってTD SYNnexに不利益が生じないように注意を払います。インクルーシブ、倫理的かつプロフェッショナルな言動を心がけます。



———
ポリシーの確認



詳細については、[ソーシャルメディアに関するポリシー](#)を確認してください。

公認の広報担当者

指名を受けた広報担当者のみが、外部との対応や連絡を行うことを認められています。これにより、メディアやその他外部組織によって私たちの言葉が取り違えられることを防ぐことができます。

- メディアもしくは外部出版物について要請を受けたときは、コーポレートコミュニケーション部門のグローバル広報担当マネージャーに転送してください。
- 金融アナリストや株主からの問い合わせは、投資家向け広報部門に転送してください。

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアでのやり取りにおいて、私たちの投稿がTD SYNnexに影響を及ぼす可能性があります。社内外を問わず、私たちは敬意を払いインクルーシブであることを忘れてはならず、TD SYNnexの価値観やポリシーに反するコミュニケーションに関与してはなりません。さらに、秘密情報を漏らしてしまわないように注意しなければなりません。

私たちは、TD SYNnex、顧客、サプライヤー、株主、コワーカーに不当に不利益を与える行為をしません。

上場企業である当社は、株主に対し、効率的かつ倫理的に事業活動を行うことを約束しています。

会社の資源を窃盗、浪費をすることは許されません。私たちは、TD SYNnexでの業務を通じて見出された機会を会社から奪うことはありません。個人的な利益のために会社の地位を濫用せず、いかなる方法でも会社と競合しません。

また、TD SYNnexを代理して発言または行動するときは、必ず、ポリシー、価値観および法的要件に反しないように注意を払います。



私たちは
株主とリソース
を尊重します。

利益相反

私たちは、TD SYNnexの最善の利益のための意思決定を妨げる可能性のある事柄について、オープンで、透明性を確保しなければなりません。

潜在的な利益相反に基づく行動でなかったとしても、その印象がわずかでも存在し、開示や適切な管理がされていない場合には、リスクを伴います。

そのため、私たちは、金銭的利害関係、個人的な関係、外部での機会または副業など、業務上の意思決定やTD SYNnexでのパフォーマンスに影響を及ぼすと思われるものについては、事前にその旨を開示します。

TD SYNnexに雇用されている間は、競合他社、ベンダーまたは顧客からいかなる報酬も受け取ることはできません。

現実のシナリオ：



一時停止

自分のチームの欠員を補充する必要があり、適切なスキルと経験が必須なポジションです。幸運にも条件を満たした候補者を知っており、しかも、彼女はたまたま新しい職を探している最中です。彼女には数年の職務経験があり、初日から業務に取り組みそうです。唯一の問題は、彼女が自分の義理の妹だということです。採用しますか？



考える

利益相反の管理ができるよう、できる限り早く会社に協力を求める必要があります。次のいずれかに該当する場合は、一度中断して情報を開示します。

- 自分の親族や友人とTD SYNnexが商取引を行うことになり得る場合。
- 個人的な関係により、コワーカーや個人のビジネスパートナーに不当な利益を提供したり、自分自身が不当な利益を提供される可能性がある場合。
- 副業を検討しており、その副業によってTD SYNnexでのパフォーマンスが損なわれたり、TD SYNnexと競合しているときみなされたりする可能性がある場合。
- 自分や家族がTD SYNnexのベンダー、顧客または競合他社との間に金銭的利害関係を有しており、それが適度な額を上回る場合、または、TD SYNnexのパートナーから不当な利益や収益の申し出を受けている場合。



実行

採用担当者は、自分の義理の妹に不当な便宜を提供できる立場にあります。この利益相反について開示しなければなりません。ただし、これは、彼女が最適な候補者であるにもかかわらず採用できないという意味ではありません。潜在的利益相反は、通常、それが公になった時点で解消することが多いです。早期の開示はTD SYNnexによる潜在的利益相反への対処を可能にし、当社の業務や評判への影響を防ぐことができます。この例では、当社と協力してレポートラインを変更したり、採用決定者を他者に変更することで解消できます。開示すれば、心配することはありません。

ポリシーの確認



潜在的利益相反の開示を怠った場合は、本規範の違反となります。今すぐに開示を行う場合は、対話型の[利益相反モジュール](#)を活用してください。詳細を知りたい場合は、[利益相反に関するポリシー全般](#)を確認してください。

秘密情報

インサイダー取引

私たちは、TD SYNnexや取引先企業に関する重要な非公開情報に接することがあります。重要な非公開情報に基づいて、TD SYNnexや他社の有価証券を売買することはできません。分別のある投資家が、企業の有価証券の売買や保有を判断する上で重要であるとする情報は、すべて重要であるとみなされます。もしあなたが「情報」を誰かに提供し、その受領者が重要な非公開情報に基づいて有価証券を売買した場合、情報提供者と受領者の両者ともインサイダー取引で有罪判決を受ける可能性があります。インサイダー取引を行った者は、解雇されるだけでなく、民事・刑事上の罰則や罰金を科せられる可能性があります。

知的財産 (IP)

私たちは、TD SYNnexとビジネスパートナーのIPを保護します。TD SYNnexの業務に関連して創作されたIPの所有権は、法令で許容される範囲で、TD SYNnexに帰属します。企業の名称やロゴなど、所有者の権利が侵害される可能性があるIPを使用するときは注意を払わなければなりません。ソフトウェアにも知的財産権が適用されます。第三者のソフトウェアを使用するときはライセンス使用許諾契約に従い、TD SYNnexが適切に使用許諾を得たソフトウェアのみを使用します。



秘密情報

自分自身、親族または友人など個人的な利益のために非公開情報を使用することはありません。また、自由競争を阻害したり、ビジネスパートナーの信頼を損なうような秘密情報を開示することはありません。秘密情報には次のようなものがあります。

- 企業秘密
- 決算情報
- 価格プラン
- 顧客リスト
- 売上高
- 戦略に関する文書
- 新商品・研究開発
- 商品の欠陥、リコール、改造
- 主要な経営陣の変更
- 破産や財政上の差し迫った問題
- 合併・買収
- 重大な訴訟

秘密情報を預かる場合は、その秘密を保持するための対策を講じます。

- 秘密情報を聞かれる可能性がある場所では、秘密情報について話しません。
- 秘密情報を放置したままにしません。
- ソーシャルメディアや外部のサイトに秘密情報を投稿することはありません。
- 権限がない限り、秘密情報をTD SYNnex社外の人と共有することはありません。

正当な業務上の必要性のために秘密情報を第三者に開示することが認められた場合は、必ず最初に秘密保持契約 (NDA) を締結する必要があります。法務部門から承認を得ない限り、他社のNDAを受け入れたり、当社のNDAの雛形を変更することはできません。

私たちは、開かれた市場で優れたサービスを提供し、公正な条件を提示することにより、成功を収めます。不当な便宜によって利益の獲得を目指すことは決してありません。

私たちは、いかなる贈収賄や腐敗行為にも関与しません。このコミットメントは、私たちが組織として贈答品を授受する場合にも影響するものです。

私たちは、自由競争を妨げ、消費者に不利益となる可能性がある活動に関与しません。個人的な利益のために秘密情報を使用せず、競争を阻害したり、ビジネスパートナーの信頼を損なうような秘密情報をの開示は行いません。

適用される独占禁止法・競争法のほか、インサイダー取引を禁止する適用法をすべて遵守します。



私たちは
自由で公正
な競争を目
指します。

贈収賄・腐敗防止

贈収賄・腐敗防止

米国の海外腐敗行為防止法や英国の贈収賄防止法などの贈収賄防止法は、当社が事業を展開するすべての地域に適用されます。私たちは、これらの法律を遵守します。現地の法律や慣習にかかわらず、いかなる種類の賄賂の提供や授受を行うことはありません。また、私たち自身が倫理的・法的に自社で行えないことを代行させるために、第三者に依頼をしてはいけません。万が一、賄賂の支払いを要請されたときは、それを拒否した上で、TD SYNnexの法務部門に直ちに報告しなければなりません。

政府関係者

政府関係者との取引では、腐敗行為に見える状況が生じないよう、特別な注意を払わなければなりません。TD SYNnexでは、すべての現地法を遵守するとともに、政府関係者への儀礼品やビジネス上のおもてなしの提供に関する独自の制約と承認プロセスを設けています。すべての要件については、TD SYNnexの贈答品・接待ポリシーの「政府関係者」セクションを確認してください。



賄賂とは

賄賂とは、不当な便宜の獲得を目的として有価物の提供や授受を行うことを指します。次のように、受領者にとって価値のあるものはすべて有価物とみなされる可能性があります。

現金の支払い	旅費
ギフト券や現金同等物	贈答品
慈善寄付金	接待
貸付金	採用内定
	秘密情報

不当な取引上の利益を獲得する意図や目的で提供されたものは賄賂とみなされます。TD SYNnexでは、いかなる贈収賄も許されません。当社を代理して不当な支払いを行ったり、当社のために他者に贈収賄を行わせてはなりません。いかなる賄賂も絶対に受け入れてはなりません。

TD SYNnexでは、次のものも禁止されます。

キックバック:取引の獲得や拡大の見返りとして提供される、支払い済みの金額または支払い予定の金額の返還。

ファシリテーションペイメント:行政上の決まった手順やプロセスを迅速に行うために政府関係者に支払われる手数料や金銭。

上記の制限は、適切に承認され、文書化されたりベートや値引きプログラムの場合や、正当な領収書がある政府の公的費用の場合には適用されません。

詳細の確認



詳細については、[贈収賄・腐敗防止ポリシー全般](#)を確認してください。

誰が政府関係者に該当するのか不明な場合は、[政府関係者ツールキット](#)にアクセスして政府関係者に該当する者を把握し、そのような人物との取引で講じるべき特別な手順を確認してください。

贈答品・接待

企業は、取引先との関係の構築や強化を目的として、ビジネスパートナーに接待を行ったり、少額のビジネスギフトを贈ったりすることがあります。

私たちは、このような状況では適切な判断、裁量、節度をもって対応します。不公平に見えたり、ビジネス上の意思決定に働きかけているように見えたりする場合、贈答品や接待の提供は不適切です。不適切または非倫理的と捉えられる可能性がある贈答品や接待の提供は、差し控えなければなりません。

通常は受入可能なもの

少額のビジネスギフトであれば、理由や時期が不当でない限り、通常は問題ありません。接待の場合も、主催者が同席し、費用が妥当で、催し物が業務に適しており、商談に付随するようなものであれば、通常は問題ありません。ビジネスパートナーに接待を要請したり、ビジネスパートナーからの要請に応じて接待を提供したりすることはできません。疑問点や不明点がある場合は、上司か倫理・コンプライアンスチームに相談してください。

- ・ 販促品
- ・ 花束
- ・ 食品
- ・ 妥当な額の食事
- ・ 安価で一般に参加できるイベントや興行
- ・ ささやかな賞品付きのローカルカンファレンスやマーケティングイベント

上記を考慮しつつ、常に良識を働かせてください。上記に該当する場合でも確信が持てないときは、再確認を行うか、まずは承認を得てください。

禁止されているもの

- ・ 現金
- ・ ギフト券
- ・ 高価な贈答品
- ・ 卑猥または無礼な贈答品
- ・ バケーション
- ・ 贅沢な食事
- ・ 世界規模のスポーツイベントや参加困難な興行
- ・ 贈答品や接待の要請



ポリシーの確認



TD SYNnexでは、ビジネスギフトの授受について、適用される年間ギフト限度額を定めています。例えば政府関係者への贈答品に対しては、通常より低い金額の上限設定や厳しい承認プロセスを定めています。具体的な状況に応じた手引きについては、対話型の[贈答品・接待モジュール](#)を活用してください。詳細を知りたい場合は、[贈答品・接待ポリシー全般](#)を確認してください。

独占禁止法・競争法

当社は事業を展開するすべての地域で独占禁止法、競争法を遵守し、自由な競争を損なったり、顧客に害を及ぼしたりする可能性のある行為には決して同意しません。

つまり、市場戦略、顧客、従業員の給与、価格といった事項について競合他社と協議しては絶対になりません。また、これと同じ原則に基づき、顧客リスト、価格、利益、入札などの競合情報を競合他社と間接的に共有することを促したり、許容したりもしません。顧客やベンダーへの活動を競合他社と連携して行ってはなりません。

市場との関係を利用して価格の人為的な維持や引き上げは決して行わず、独自に再販価格を設定します。

現実のシナリオ：



一時停止

私たちはある競合他社と価格競争を繰り広げています。コワーカーは、ベンダーの担当者にメールを送り、競合他社に連絡して価格競争を終わらせるよう口利きしてもらってはどうかと提案しました。どうしますか？



考える

この例のようなメールは、間接的な価格操作とみなされる可能性があります。独占禁止法違反の調査を受けたり、重い処分が科せられたりする可能性があります。ベンダーや顧客とやり取りするときは、次のことを自分自身に問いかけてみてください。

- 競合他社間で直接的または間接的に価格や条件に合意したり、市場行動を調整したりしようとしていると捉えられる可能性はないか？
- 競合他社間で秘密情報を共有しようとしていると捉えられる可能性はないか？
- 製品やサービスの再販価格を操作したり、干渉したりしようとしていると捉えられる可能性はないか？
- 最終顧客に不利益となるような競争の制限を行おうとしていると捉えられる可能性はないか？



実行

この例の場合、メールを送信すべきではありません。上記の話題は危険行為を引き起こすものであり、そのような話を持ち掛けられても会話に加わってはなりません！独占禁止法を遵守することを伝えた上で、直ちにその会話を中止してください。メールで送られてきたときは、自分の返信がTD SYNnexのシステムに保存されていることを確認してください。会議中に話題になった場合で、会話が中断されないときは、その場を離れ、自分が退席した事実を議事録に記録するように依頼してください。すぐに法務部門に報告して、サポートを求めてください。

ポリシーの確認



独占禁止法は複雑な場合がありますが、TD SYNnexではビジネスとの関連性が高いポイントをまとめて、独占禁止法を遵守するための5大規則を定めています。詳細については、[反トラスト・競争法ポリシー全般](#)を確認してください。

私たちは、個人情報を収集、保管、利用、共有する際に適切な措置を講じることで、コワーカーやビジネスパートナーのプライバシーを尊重します。

業務上の目的を達成するために必要な範囲でのみ情報を収集し、個人情報が不要となった場合には、責任を持って廃棄します。当社のITポリシーと要件に従い、個人情報の安全な保管を徹底し、安全な方法を用いて権限のある関係者のみと個人情報が共有されるよう配慮しています。

私たちは、事業を展開する各地域で適用されるデータプライバシー法を遵守し、必要な許可を得た上で個人情報を利用します。

私たちは
個人のプ
ライ
バシーを保護
します。

個人情報

記録管理

法令や商慣行により、特定の物理的文書や電子文書を一定期間保管することを義務付けられています。さらに、係争中または今後想定される訴訟、調査または監査に関する記録の保管も義務付けられています。ただし、必要以上の長期保管は、無駄なコストがかかるだけでなく、関連情報の検索やアクセスの効率性が損なわれることに繋がります。私たちの業務には、業務記録の保持と安全な廃棄に関するポリシーと手順が適用されます。これを遵守することにより、保管のコストと効率性のバランスを取ることができます。

個人情報の取り扱い

コワーカーやビジネスパートナーは、私たちに信頼して個人情報を預けています。私たちは、注意を払って個人情報を取り扱うことにより、その信頼に応えます。個人情報の収集、保管、利用または共有にあたっては、データを安全に保管し、法的要件を満たすための措置を講じなければなりません。この詳細については、個人情報の取り扱いに関するポリシーを確認してください。

個人情報を保護する方法

次のプライバシー原則がTD SYNnexでの個人情報の保護に役立ちます。

- 職務の遂行に必要で、且つ権限を与えられている場合に限り、個人情報を収集または利用します。
- 承認を得ており、正当なビジネス上の必要性がない限り、個人情報を開示しません。
- 個人情報の機密性とセキュリティを維持するために必要な措置を講じます。
- 個人情報の取り扱いやアクセスを第三者に委託するときは、委託先を慎重に選定します。委託先との間で適切な契約を締結します。
- 個人情報は、必ず、承認されている第三者に対してのみ、安全な手段を用いて移送します。
- 個人情報を含む記録が不要になったときは、会社のポリシーと手順に従って記録を廃棄または消去します。

サポート連絡先



個人情報の保護は複雑な場合があります。不明な点があればお問い合わせください。グローバルプライバシーチームには、privacy@tdsynnex.comから問い合わせることができます。

ポリシーの確認



個人情報の機密性、完全性または可用性が損なわれている場合やその疑いがある場合は、[懸念の報告](#)プロセスに従って直ちに報告してください。

当社は、ビジネスパートナーが、ITシステムと資産の安全確保に対する支援を期待していることを理解しており、その責任を真剣に受け止めています。

サイバーセキュリティのベストプラクティスと国際基準を遵守します。情報の機密性、完全性、可用性を実現するため、当社には厳格なIT基準が導入されています。コワーカーは、プライバシー、サイバーセキュリティ、ITの利用に関するポリシーとベストプラクティスを遵守するため、定期的にトレーニングを受けます。

私たちは、TD SYNnexの情報を安全かつ安心して利用できるITシステムとポリシーを策定し、サポーティングパートナーにもこれらのベストプラクティスを広げています。



私たちは
サイバーセ
キュリティを
優先します。

セキュリティ

個人の責任

詐欺、ランサムウェア、情報漏洩といったサイバーリスクは、TD SYNnexの経営状態や評判を損なう可能性があります。技術的な対策の改善に努めているものの、会社を守るには個人の意識も重要になります。コワーカーは、セキュリティ啓発プログラムに積極的に参加することが求められ、フィッシングの模擬演習に取り組み、すべての必要なトレーニングを完了しなければなりません。

許容される使用

TD SYNnexツールやシステムを常に責任をもって使用します。

- 違法または非倫理的な用途でITリソースを使用しません。
- 卑猥、下品、不快とみなされる可能性があるコンテンツにアクセスしません。
- 使用許諾を得ていないソフトウェアをダウンロードしません。

TD SYNnexは、法令で許容される範囲で、TD SYNnexシステムの使用を監視・制限する権利を留保します。

サイバーセキュリティを維持する方法

次のサイバーセキュリティ原則に従うことが、TD SYNnexのITシステムのセキュリティを維持するのに役立ちます。

- 仕事用とプライベート用のデジタルIDを分けて保管します。TD SYNnexのメールアドレスを個人用アカウントで使用しないようにします。また、業務を行うときは承認されたTD SYNnexツールのみを使用します。
- 不審な電子メール、電話、テキストメッセージ等を受信したときは、対応する前に確認してください。
- サイバーセキュリティプログラムにおいて、フィッシング攻撃は最も脅威的な攻撃の一つです。フィッシングメールや情報漏洩の可能性など、サイバー犯罪の脅威が疑われる場合は、速やかにIT部門に通報しなければなりません。IT部門が適切に対処します。
- 電子記録の送受信を行うときは、注意を払ってください。セキュリティ事故の中で最も多いのは、誤った人物と意図せず情報を共有してしまうことです。送信前に、すべての宛先に間違いがないことを再確認してください。
- TD SYNnexの外部に秘密情報を保管しないようにします。秘密情報は、承認されたTD SYNnexシステム内に保管しなければなりません。外部システムに情報を共有する必要があるときは、ITセキュリティチームに相談して承認を得てください。
- 電信送金や口座情報の変更を行うときは、十分な注意が必要です。どのようなものであれ、電子取引を行うときは、TD SYNnexのすべてのポリシーと手順に従って行います。

ポリシーの確認



TD SYNnexのシステムやデータを使用するときは、責任をもって予防措置を講じなければなりません。この詳細については、[サイバーセキュリティ・利用規定に関するポリシー](#)を確認してください。



「私たちは、正しい方法でビジネスを行うことで、あらゆるやり取りにおいてビジネスパートナーの信頼を構築します。全世界のコワーカー一人ひとりが常にこれらの原則を行動に移すことが重要です。TD SYNnexの全コミュニティを代表して、皆さんの倫理的なリーダーシップに感謝申し上げます。」

David Vetter

エグゼクティブバイスプレジデント、最高法務責任者